

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

事業説明会

自動車電装システム領域

2026年6月5日

自動車電装システム領域長

内田 輝義

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 米国、欧州、日本その他のアジア諸国等の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・ 米ドル、ユーロ、アジア諸国等の各通貨の為替相場の変動
- ・ 急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・ 財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・ 諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・ 当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

Agenda

1. 事業方針
2. 事業戦略ロードマップ
3. 製品戦略ロードマップ
4. カーボンニュートラル／サーキュラーエコノミー（CN/CE）の推進
5. 顧客戦略と生産体制
6. 売上高・営業利益推移

Appendix 事業概要、製品紹介

1. 事業方針

- 車両進化に対応した価値提供を通じて、「人とクルマの、やさしい未来へ。」を実現し、社会課題解決への貢献と持続的成長を両立する

外部環境

- 電動車市場の緩やかな成長
- 車のさらなる進化
- 急激な需要変動
- 地政学リスクの高まり

(製品戦略)

車両進化を牽引する
製品の提供

既存製品の競争力強化と新たな市場機会の獲得を通じた製品価値の向上

- 低圧ワイヤハーネスの差別化技術による収益基盤の強化
- 高電圧製品の拡充を通じた成長領域の拡大
- 機能製品の市場・新用途への展開
- 次世代電装システムでの新製品の創出

(環境対応)

カーボンニュートラル/
サーキュラーエコノミー
(CN/CE) の推進

温室効果ガス(GHG)削減を軸に環境対応を推進

- グローバル生産拠点での再生可能エネルギー利用の拡大
- リサイクル技術による環境負荷の低減

(供給戦略)

顧客戦略と生産体制

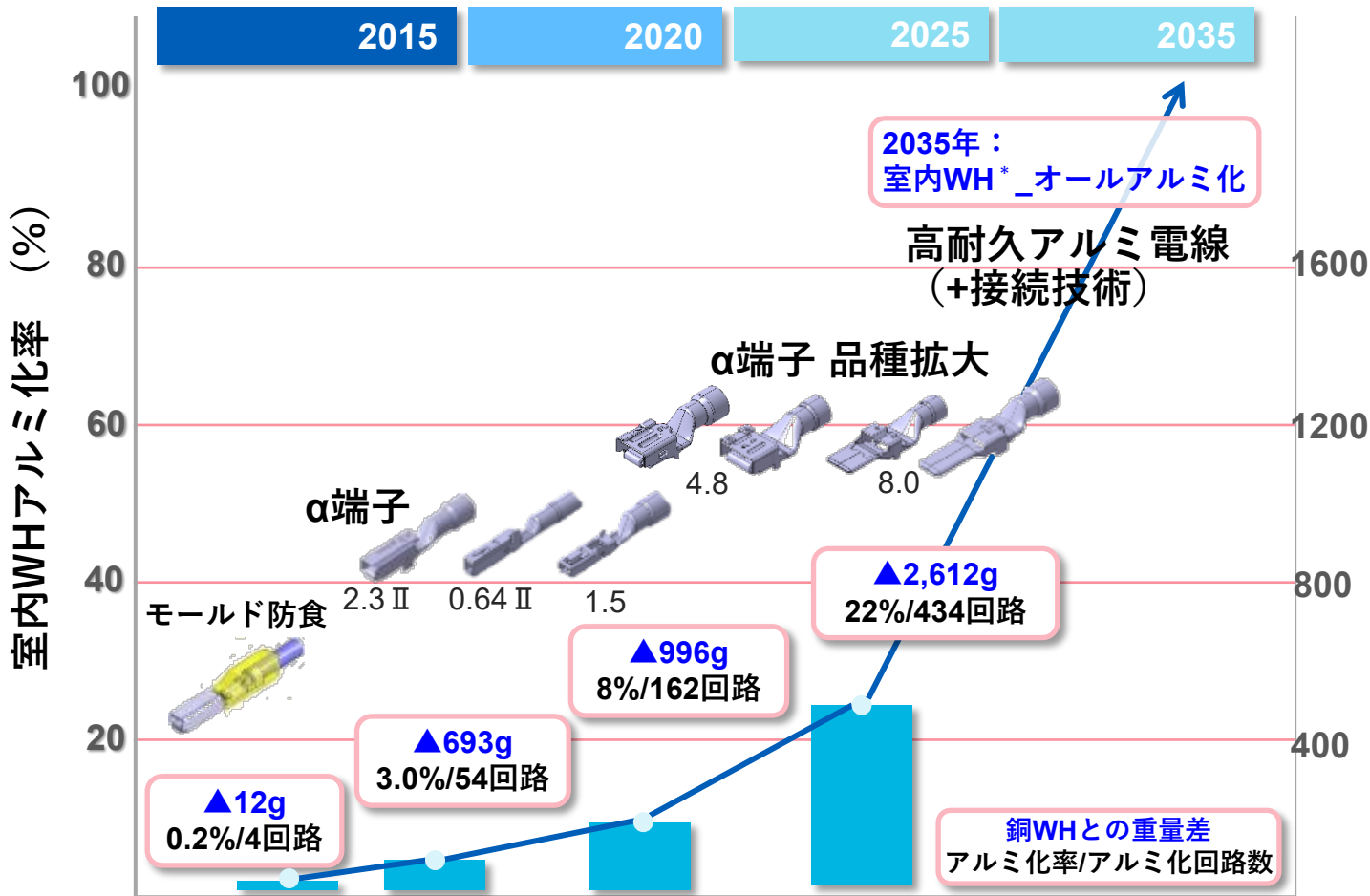
顧客ニーズへの対応と供給体制の最適化

- 顧客戦略に応じた拡販活動と地産地消ニーズへの対応
- 地政学リスクに対応した供給体制の構築

3. 製品別戦略 低電圧製品 ①アルミ拡大

- 銅電線に対して環境・コスト面で優位なアルミ電線を、当社の独自技術にて拡大

段階的な要素技術開発とラインナップの拡充

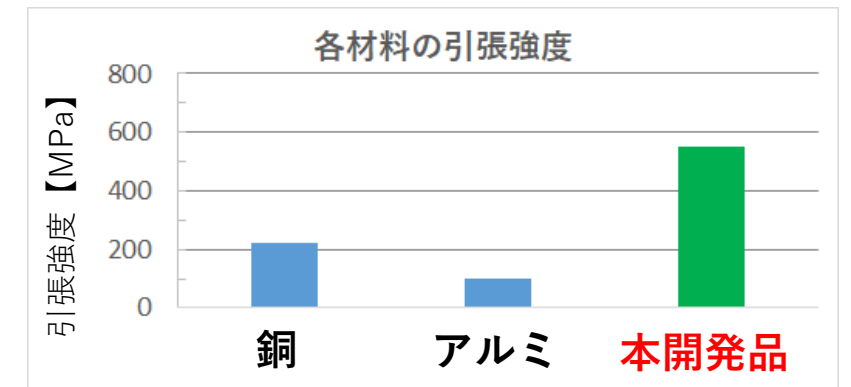
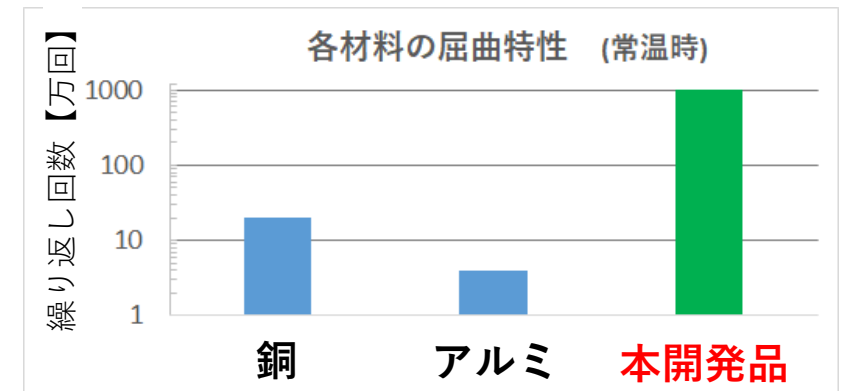


*WH: ワイヤハーネス

高耐久アルミ電線

当社独自のメタル技術により、微細な結晶粒をもつ新たなアルミニウム合金線材を開発中

【導体の特徴】 銅線より優れる屈曲特性と引張強度



3. 製品別戦略 低電圧製品 ②造り方改革（生産の自動化）

- 生産の自動化により、地産地消を可能にする生産体制を構築

Phase 0～2：現状のハーネス構成を大きく変更することなく実現

Phase 3：自動化に適したハーネス構成に製品設計を見直すことも視野

2030以降

Phase 3

チャレンジ

Phase2と設計変更で、造り方改革を実現
 大型ハーネスにチャレンジ

2029～

Phase 2 拡大

Phase1で確立した技術をベースに
 適用可能なハーネス種類を拡大



インパネWH
 フロアWH

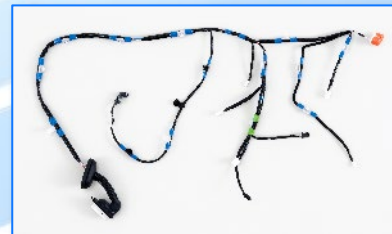
100回路～

- 自動化に適したWH形態
- 自動化/手動分業の最適化

2028～

Phase 1 導入

シンプルなハーネスで技術確立
 人手に頼らないモノ造りを実現



ドアWH
 100回路前後のフロア、
 インパネWH

20～100回路

- 適用外装種類の拡大
- 人手作業の一部導入



スモールWH*

～20回路

- 完全自動化

2025

Phase 0

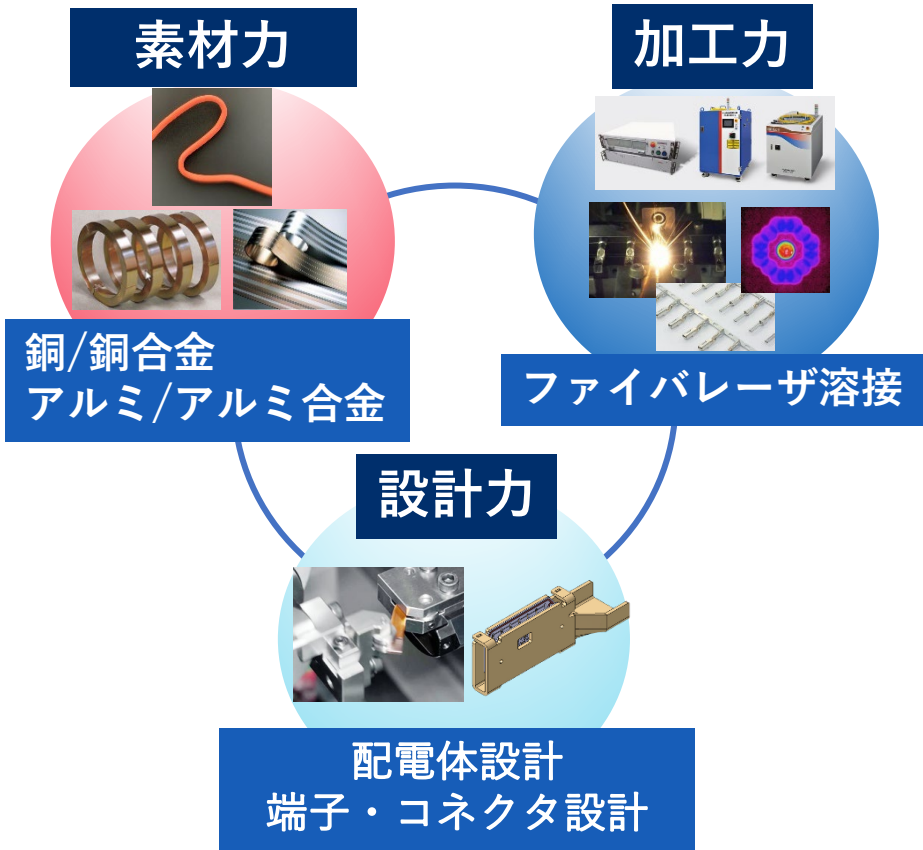
開発

試作ベースで
 モデルライン構築

*WH：ワイヤハーネス

3. 製品別戦略 高電圧製品

- 素材力・加工力・設計力の強みを活かし、電動化の進展に伴う市場拡大を捉えた高電圧製品を拡充



小型化・高効率化により、省スペース・軽量化やエネルギー効率の向上に貢献



3. 製品別戦略 SRC・BSS・周辺監視レーダ

- 機能製品の技術進化と用途拡大により、車の安全・信頼性向上に貢献

SRC (ステアリングロールコネクタ) グローバルシェアNo.1の高品質製品

- 100Mbps級通信、小型化、
ステアバイワイヤに適した設計
→コックピットの進化に貢献



BSS® (鉛バッテリー状態検知センサ) 国内シェアNo.1の高センシング製品

- 電動車のシステム信頼性向上への
検知能力拡大
- 走行中センシングに加え、駐車中の
監視能力を強化
不意のバッテリー上がり防止
→車の進化に貢献



周辺監視レーダ カメラではとらえにくい環境でも危険を検知

- 汚れや雨に強い特性を生かし、建機・産業用車両の周辺監視、
高速道路での逆走車両の検知
→モビリティやインフラの進化に貢献



3. 製品別戦略 新製品

- SDV*・自動運転・コネクティッド技術の進展による 次世代電装システムでの新製品創出

*SDV : Software Defined Vehicle

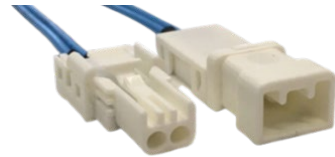
高速通信、光通信

コネクティッドや自動運転に必要な高速大容量通信に対応

シールド付きメタルケーブル

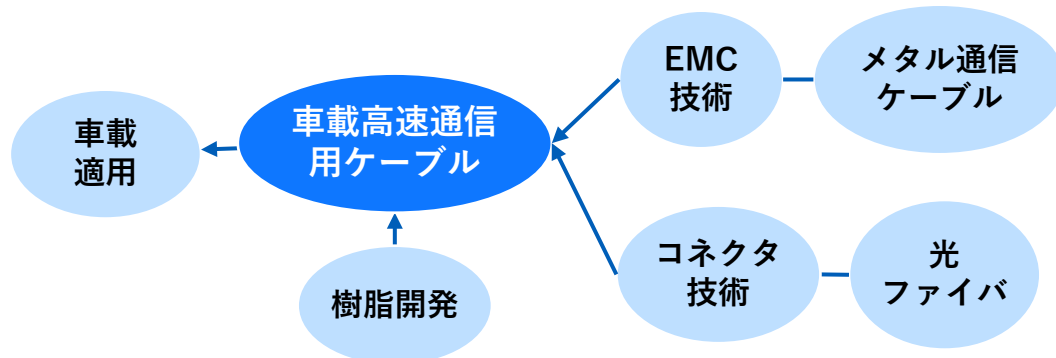


光ケーブル



- 情報通信分野で培った被覆材の誘電率やツイストの撚りピッチ管理等の技術を活用

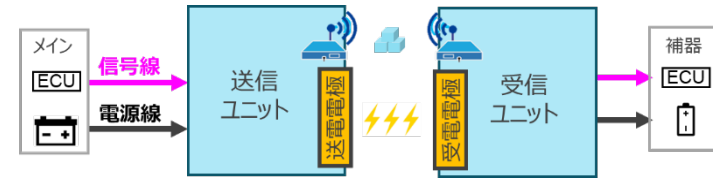
- 世界トップクラスの光ファイバ技術と光コネクタ技術を車載に適用



ワイヤレス 通信・電力

車室内機器のレイアウトフリーに対応

ワイヤレスユニット

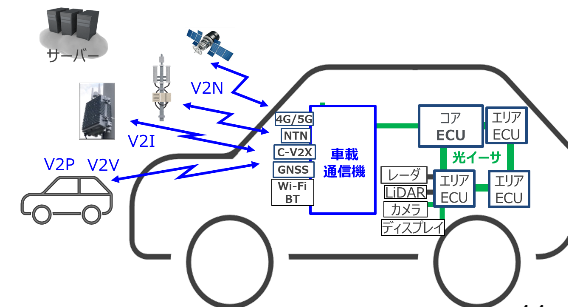


車載適用例

- 配線の省スペース化を実現し、車両組立時の結線作業の削減、バリエーションや意匠レイアウトの柔軟性向上

V2X通信

- ルータ技術、無線通信技術を活かし、低遅延かつ高品質なV2X通信システムを構築



4. CN/CEの推進 ①温室効果ガス（GHG）の削減

● 2050年カーボンニュートラルに向け、まずはGHG（Scope1,2）排出量を2030年50%（21年比）削減目標

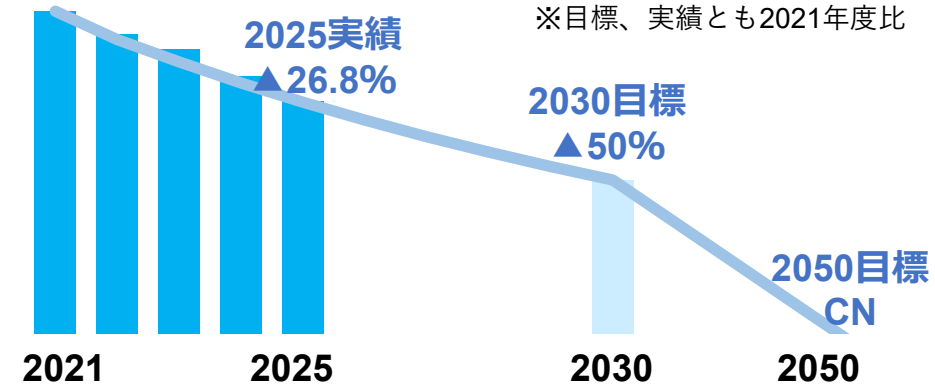
■ GHG排出量（Scope1,2）削減目標と進捗（自動車領域）

目標：2021年度比で、

- ・ 2030年：50%削減
- ・ 2050年：カーボンニュートラル(CN)

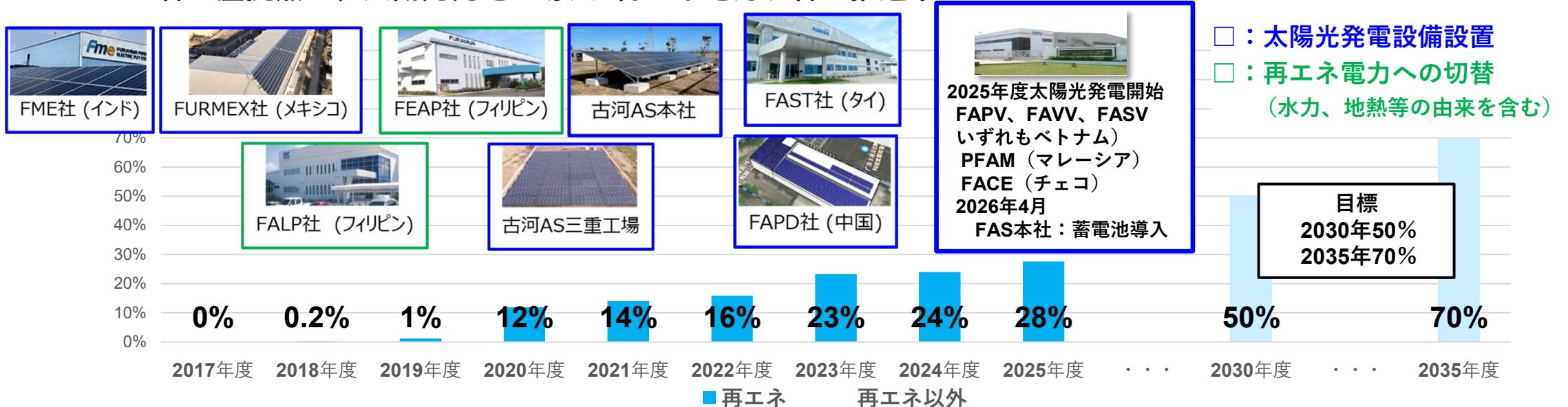
進捗：2025年度時点、概ね計画通り

目標：27.0%削減、実績：26.8%削減 ※目標、実績とも2021年度比



■ 再生可能エネルギーの導入促進

● グローバルの各生産拠点で、太陽光発電の導入 / 再エネ電力切替を推進中



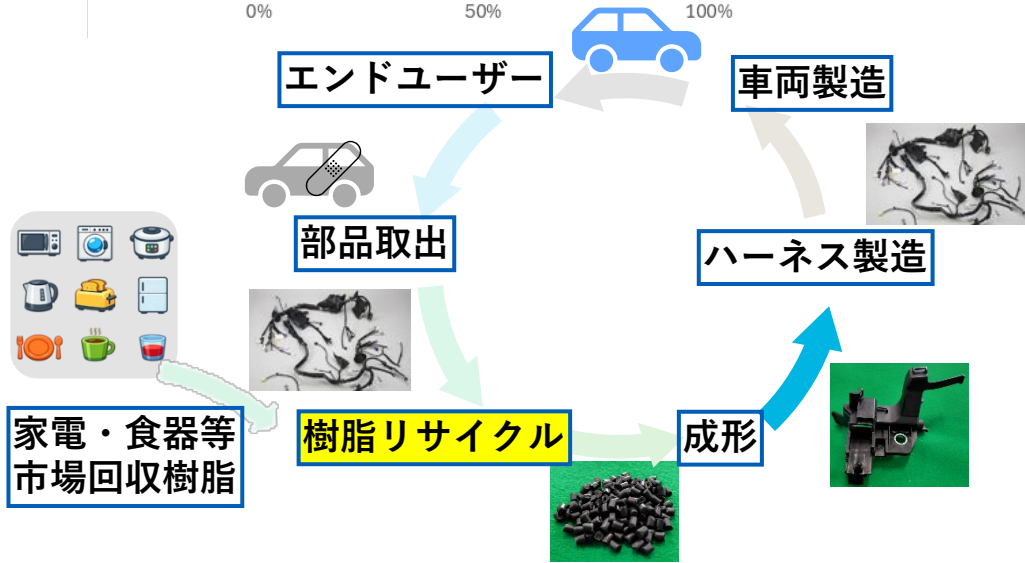
4. CN/CEの推進 ②リサイクル材の活用による環境負荷の低減

- 業界全体で進むPP材の再生材活用と、当社独自のPVC材社内再利用により、環境負荷を低減

PP材の再生材活用

欧州ELV規制（2025年12月暫定合意内容）

車両1台分の樹脂使用量の約50%がPP材

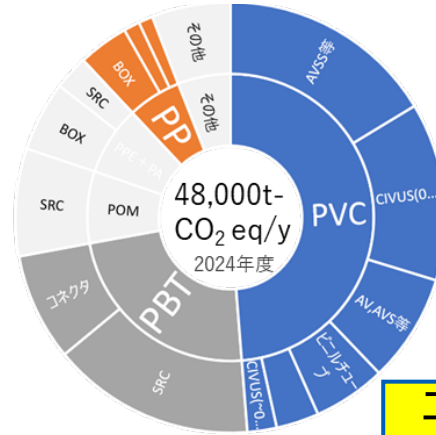


- ✓ 車両全体でPP再生樹脂50%以上適用でELV*規制に適合可能
- ✓ 当社では2026年度中に再生材適用の目途付け完了し2028年度以降の適用に向けて準備中

*End-of-Life Vehicles

PVC材の製造時ロスの社内再利用

樹脂別排出量（部門内）



- ✓ 当社で使用量の多い樹脂材であるPVCの工程内リサイクルにより樹脂材由来のCO₂排出量を削減
- ✓ 2030年度に再生材によるCO₂排出2%削減を目指す

5. 顧客戦略と生産体制 ①市場・顧客への対応

- ワイヤハーネスは、日系OEM*1をターゲットに、顧客の製品・地域戦略を踏まえた受注活動を展開
- 機能製品（SRC*2・高電圧製品等）は、グローバルのOEMをターゲットに、成長・未参入市場へ拡大

【欧州】

- + 地産地消ニーズへの対応
- + 欧系OEMへSRC拡販
- + 日系OEMへ高電圧製品拡販

【中国】

- + 日系OEM(中国専用車)への拡販
- + SRCの非日系顧客の開拓

【日本】

- + 地産地消ニーズへの対応
- + 新製品とCN/CE領域で日系OEMと共創拡大

【北米】

- + 地産地消ニーズへの対応
- + 米系OEMへSRC拡販

【インド】

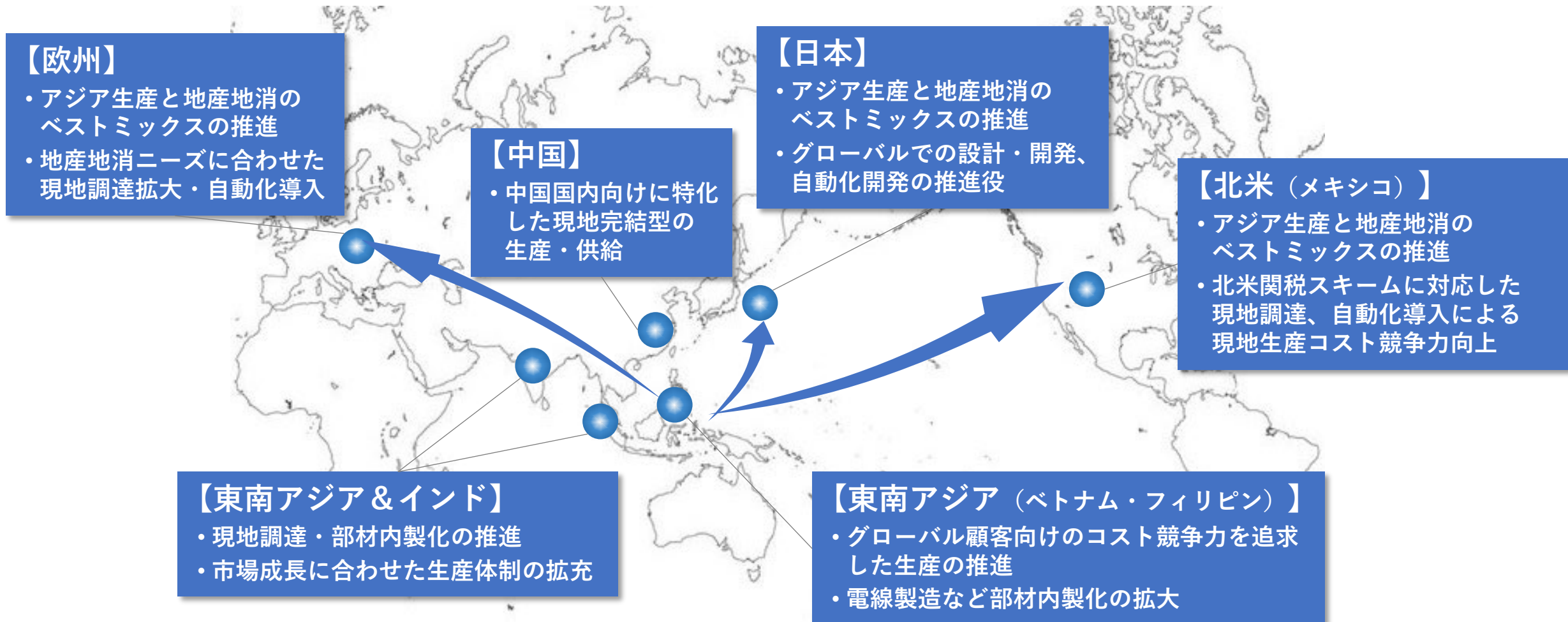
- + 印系OEMへSRC拡販
- + 日系OEMの拡大戦略に合わせて日系OEMに全製品を拡販

【ASEAN】

- + 各地域の市場成長に合わせて日系OEM中心に全製品を拡販

5. 顧客戦略と生産体制 ② グローバル生産・供給体制

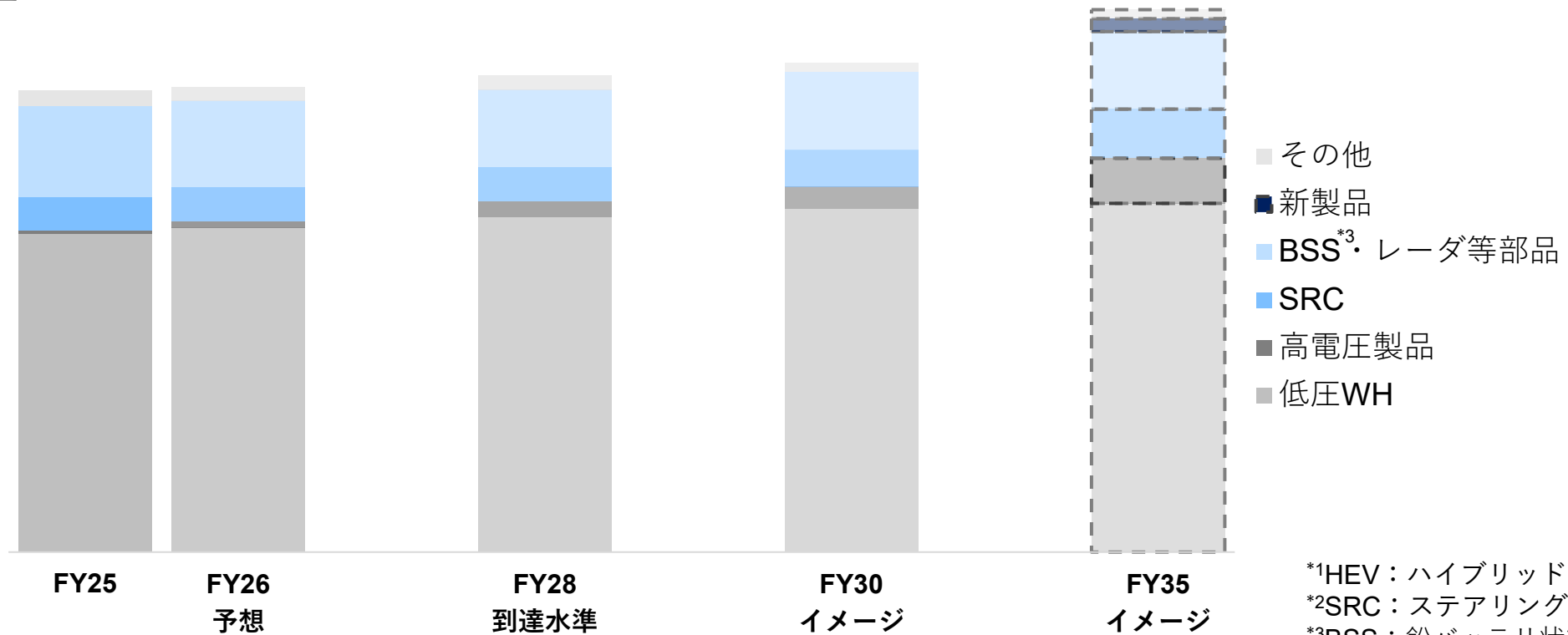
- 地政学リスクや市場変化への迅速な対応に向けた「地産地消」と、コストを鑑みた「東南アジア生産」のベストミックスにより、競争力のある供給体制を構築



6. 売上高・営業利益推移 製品別売上計画

- 低圧WH：アルミ化＋自動化といった差別化技術を活かして新規領域を取り込み
- 高電圧製品：HEV^{*1}も含めた電動化の進展に伴う市場の拡大に合わせて、積極的に売上を拡大
- SRC^{*2}：成長市場や未参入市場において商圏を拡大

製品群別売上



*1HEV：ハイブリッドEV

*2SRC：ステアリングロールコネクタ

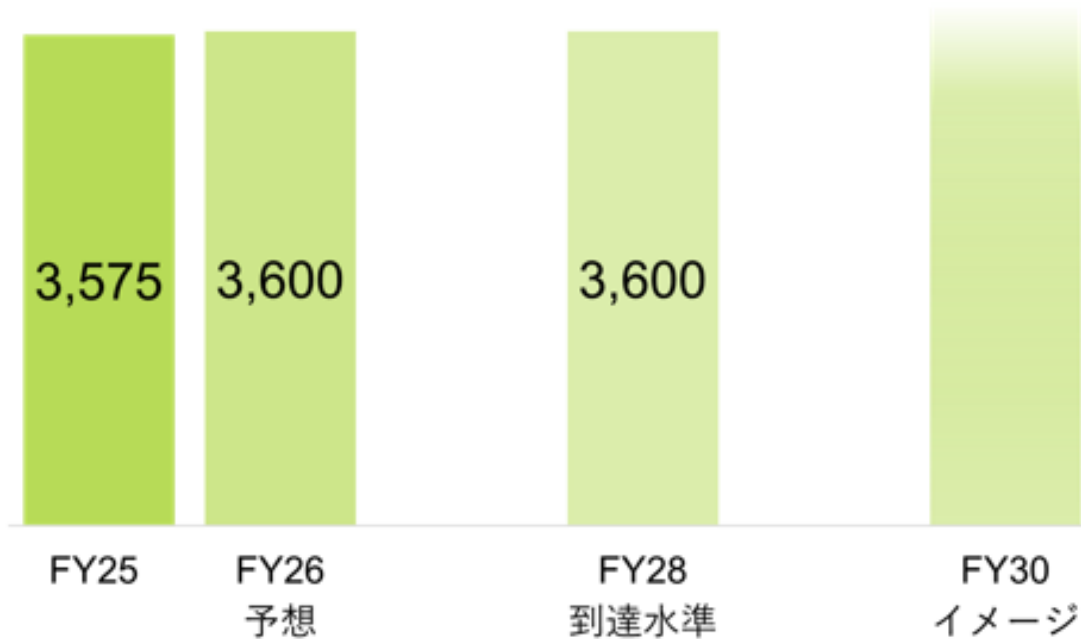
*3BSS：鉛バッテリー状態検知センサ

6. 売上高・営業利益推移

- 継続的な成長に向けた先行投資に伴い一時的に減益局面となるも、収益基盤は維持しており、今後の成長に向けた余地を確保

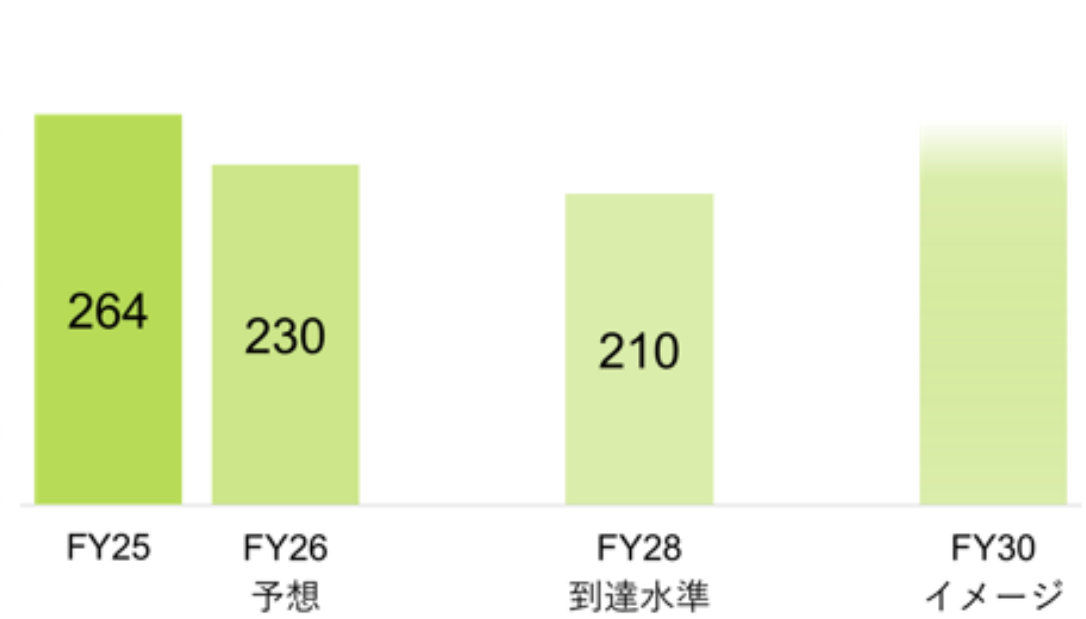
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

ご清聴ありがとうございました

Thank You

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。



All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

補足資料 - Appendix

補足資料 事業概要

補足資料 製品紹介

環境分析

事業環境(主な収益機会)

- 電動車市場の緩やかな成長
(HEV含む高電圧製品の需要拡大)
- 車のさらなる進化
(新たな製品や用途の市場拡大)

強み

- グループで蓄積した素材力・加工力・設計力と車載技術の融合による高い技術力
(高電圧製品群、新製品開発、等)
- 独自のアルミ電線技術
(α 端子[®]、高耐久アルミ電線)
- SRC (グローバルシェアNo.1) /BSS[®] (国内シェアNo.1) の市場競争力

事業環境(主なリスク・脅威)

- 急激な需要変動
(電動化シフトの不確実性等)
- 地政学リスクの高まり
(北米関税/物流混乱等)
- 各国環境規制の強化
(欧州ELV規制等)

課題

- 次世代電装システム向けの事業化に向けた製品開発
(収益貢献は2035年以降)
- 生産自動化による地産地消とアジア生産の最適化による強靱な供給体制の構築
- GHG削減を軸にしたCN/CEの推進
(2030年GHG排出量▲50%(21年比))

ビジョン2030に向けた事業戦略




基本方針

車両進化に対応した価値提供を通じて、「人とクルマの、やさしい未来へ。」を実現し、社会課題解決への貢献と持続的成長を両立する

- 既存製品の競争力強化と新たな市場機会の獲得を通じて、ポートフォリオ転換を推進し、持続的成長を実現

主な戦略

- ① 車両進化を牽引する製品の提供
(低圧WH) アルミ化・生産自動化による競争力強化
(高電圧製品) 素材力・加工力・設計力を活かし、成長する電動車市場に向けた高電圧製品ラインナップ拡充
(SRC) ステアバイワイヤ対応など高機能化するニーズへの対応
成長・未参入市場での商圏の拡大
(BSS・レーダ) センシング能力の拡大と用途展開
(新製品) SDV・自動運転の進化に対応した次世代電装システムの製品創出 (ワイヤレス通信・電力、高速通信、V2X等)
- ② GHG排出量削減を軸にしたCN/CEの推進
 - 再エネ導入の拡大、着実な省エネ生産活動、リサイクル材の活用
- ③ 顧客戦略と生産体制の進化
 - WHは日系OEM、機能製品はグローバルOEM向けに受注拡大
 - 地政学リスク対応として顧客の地産地消ニーズへの対応と東南アジア生産のベストミックスで強靱な供給体制を確立

貢献分野	自動車電装システム				
	ワイヤハーネス	高電圧製品	機能製品		
製品写真					
データセンタ					
カーボンニュートラル	●	●		●	
インフラ強化					
モビリティ (自動運転・電動化)	●	●	●	●	●
主な製品	<ul style="list-style-type: none"> ● アルミワイヤハーネス ● 防食端子 (α端子®) ● フラットケーブル応用製品 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高電圧ワイヤハーネス ● 高電圧ジャンクションボックス ● 高電圧バスバー製品 ● 大連流高電圧コネクタ ● 電池パック内ワイヤハーネス 	<ul style="list-style-type: none"> ● SRC (ステアリングロールコネクタ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● BSS® (鉛バッテリー状態検知センサ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺監視レーダ
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両内配線 ● スライドドア・ロングスライドシートへの電力供給および信号の伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ● xEV車の高電圧回路の配電 ● xEV車の高電圧回路の電源分配 	<ul style="list-style-type: none"> ● エアバッグ ● オーディオ、クルーズコントロール操作 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両電源マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 先進運転支援システム (ADAS)
主な顧客	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系OEM*1 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系OEM 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系OEM / Tier 1 *2 ● 海外OEM / Tier 1 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系OEM 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系OEM ● 建機メーカー など

*1OEM：カーメーカー、*2Tier1：1次サプライヤ